

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	建築法規 1	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名			開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	初めての建築法規 学芸出版社 建築関係法令集 総合資格学院						
担当教員情報							
担当教員	永田雅敏			実務経験の有無・職種		有・建築設計	
学習目的							
平成17年の構造計算書偽装問題を受け、建築物の構造への安全性について国民の関心が高まった。また、平成23年3月に発生した東日本大震災、さらに今後発生可能性がある東海・東南海・南海連動型地震に対する建築物の防災対策強化に対して、建築基準法及び建築士法の適正な運用と法令順守を厳格に行わなければならない。建築法規 1 では「建築士を目指す者として必要な法的知識（主に単体規定）の習得」を学習目的とする。							
到達目標							
法令集を活用し毎授業において小テストに取り組み、各授業の理解度を確認する。各授業内容の項目について小テスト90点以上を目標とし、全15回終了時点において2級建築士学科試験合格レベルをこの授業の到達目標とする。							
教育方法等							
授業概要	教科書と法令集及び配布プリントを使用し、実務を想定した話題を盛り込みながら講義を進める。各授業共に前半は各項目の理解、算定方法等を学び、授業後半において演習問題（小テストを毎授業実施）に取り組む。						
注意点	法令集を引き、条文の内容を理解することが重要となる。毎授業、法令集を必ず持参すること。講義の内容によりプリントを配布するのでファイリングしておくこと。出席は自己管理とし、出席不足にならないよう注意すること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は期末テストを受験することができない。日本工学院授業心得を守ること。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	60%	試験を総合的に評価する				
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表	10%	授業内で問題解答等について他者のお手本となる発表等（人に説明できるを目標とする）によって評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	授業ガイダンス			建築基準法の体系と法令用語の原則 単体規定を理解する。			
2回	用語の定義			建築基準法及び施行令の用語の定義を理解する。			
3回	確認申請			確認済証の交付を受ける要・不要を理解する。			
4回	建築手続			確認申請・完了検査・中間検査・仮使用認定その他の建築手続を理解する。			
5回	一般構造①			居室の採光（採光補正係数の計算方法）・居室の換気等を理解する。			
6回	一般構造②			石綿その他の物質又は発散に対する衛生上の措置等を理解する。			
7回	一般構造③			居室の天井の高さ・居室の床の高さ及び防湿方法等を理解する。			
8回	耐火・防火			耐火・防火等の性能に関する技術的基準等を理解する。			
9回	防火区画			面積区画・たて穴区画・異種用途区画を理解する。			
10回	避難施設			廊下の幅 直通階段 2以上の直通階段 排煙設備 非常用の進入口を理解する。			
11回	内装制限			内装制限を受ける建築物 内装制限を受ける建築物の内装等を理解する。			
12回	構造計算・構造強度①			柱の小径を算定することができる。			
13回	構造計算・構造強度②			必要な耐力壁の有効長さを算定（地震力・風圧力）することができる。			
14回	構造計算・構造強度③			構造耐力上有効な軸組長さを算定することができる。			
15回	総復習			法令集を引き、各項目の設問について解答を導き出すことができる。			